

# 視聴覚教育時報

No.709 2018年 6月号

## contents

- ▽私のことば「視聴覚教育時報－電子版－」再出発
- ▽新会長に生田孝至氏就任／平成30・31年度役員決定
- ▽平成30年度「講師派遣事業」－新アンケート調査－
- ▽専門委員決まる
- ▽訃報 吉川刀夫副会長逝去
- ▽えすけーぷ

### ▽私のことば「視聴覚教育時報－電子版－」再出発

「視聴覚教育時報」は、昭和29年7月創刊以来、64年間にわたり、視聴覚センター・ライブラリーはじめ各都道府県市町村教育メディア関係の方々へ視聴覚教育に関する情報提供が行われてきました。

最盛期には約4千部近く発行されていたようですが、近年の発行部数は半数を大幅に下回る所まで減少していると言われおり、その要因のひとつには視聴覚教育関係施設や団体等の減少もあるようです。

創刊号の第一面を見ますと「小さな映画利用グループ－地域AVについて－」と題して当時の新潟県視聴覚教育係長佐藤嘉市氏が書かれています。その中で地域視聴覚ライブラリーの役割として、地域内の小さなメディア利用グループの育成支援の大切さについて触れています。この考え方は、メディアの多様化が進んだ現在の視聴覚センター・ライブラリーでも言えると思います。また、全視連という全国的組織についても言える事で、地方のメディア関係団体の育成や支援を積極的に進める事が必要だとも読み取れます。

「視聴覚教育時報」による情報提供もその一手段ですが、数年前からICT時代に対応した

情報活動に改善するという意味から、メルマガやホームページの充実、さらにブログ等SNSを活用した情報発信や交流を行ってきました。

半面、長い歴史を持つ紙媒体の視聴覚教育時報の発行は、ICT時代にフィットする云々よりも、財源不足が深刻な理由となっており、その対応策として、視聴覚教育時報の電子化が提案されたようです。

一般社会でも、メディア環境は多様化し、今では、ブログ、FacebookやTwitter、Instagram等SNSを利用して、メッセージや写真・動画等を受動的に見聞きするだけでなく、撮り創り送りシェアしコミュニケーションする事が日常生活の中に定着しているのはご存じのとおりです。

「視聴覚教育時報－電子版－」は、今まで郵便でお届けしていた各地方自治体教育メディア関係及び加盟団体そして教育メディア関係者の方々に配信されるようですが、電子化を機会に、各地の視聴覚関係施設はじめ小さなメディア関係やグループ等、多くの方々へ閲覧頂けるようシェアをお願いしたいものです。

松田 實（全国視聴覚教育連盟常任理事・

専門委員会アドバイザー）

## ▽新会長に生田孝至氏就任／平成30・31年度役員決定

去る4月24日開催された第1回常任理事会において平成30年～31年度の役員選任に関する人事案件の審議に際し、井上孝美会長が任期満了に伴い会長職を退任されました。故井内慶次郎前全視連会長の逝去に伴い平成20年7月に後任会長として就任、以来約10年間にわたって、生涯学習社会における教育メディアの利用推進を図るため視聴覚センター・ライブラリーの活動推進、さらには視聴覚教育・放送教育総合全国大会合同大会の実施に努められるなど活躍されてきました。

平成30年度第1回文書理事会において、新会長に生田孝至氏が、また副会長、常任理事等の役員案が下記のように提案され6月22日をもって承認された。なお、役員の内任期は平成30・31年の2年。



生田孝至新会長

### 〈会長〉

- ・ 生田孝至（新）  
一般財団法人日本視聴覚教育協会会長

### 〈副会長〉

- ・ 長谷川明寿（新）  
新潟県立生涯学習推進センター所長
- ・ 鈴木 等（新）  
茨城県視聴覚教育振興会会長

### 〈常任理事〉

- ・ 高橋充史（再）  
栃木県視聴覚教育連盟委員長
- ・ 岡島美智子（再）  
群馬県視聴覚ライブラリー連絡協議会会長
- ・ 富士池長雄（再）  
埼玉県視聴覚教育連絡協議会会長
- ・ 井内 毅（再）  
千葉県視聴覚ライブラリー連絡協議会理事  
長

- ・ 松田 實（再）  
全国視聴覚教育連盟専門委員会アドバイザー
- ・ 岡部守男（再）  
（兼事務局長）一般財団法人日本視聴覚教育協会常務理事

### 〈理事〉

- ・ 各都道府県・指定都市加盟団体長24名

### 〈監事〉

- ・ 布宮誠一（新）  
北村山視聴覚教育センター所長
- ・ 田中富男（再）  
仙台市教育委員会生涯学習課長

### 〈事務局〉

- ・ 村上長彦 専門委員長（再）  
東京都足立区教育委員会
- ・ 丸山裕輔 副専門委員長（再）  
新潟県阿賀町立上条小学校長
- ・ 佐藤 正 事務局長次長（再）  
一般財団法人日本視聴覚教育協会事務局次長

## ▽平成30年度「講師派遣事業」—新アンケート調査—

本事業は、各加盟団体が域内の担当者を集めて例年実施する研究会・研修会を一層有意義なものにするため、全視連において組織する“全視連指導協力者会議”の学識経験者の中から、または加盟団体が独自に選定する講師に対して、要請に応じて講師の派遣を行うものです。

本年度より従来の研修を実施しての報告書に加え、市販映像教材に関する簡単なアンケートを研修会参加者に記入していただくこととなりましたので、ご協力よろしくお願いいたします。

### ○講師一覧（氏名・所属・講演テーマ）

- ・市川 昌氏（江戸川大学名誉教授）  
視聴覚教育・放送教育の歴史とこれからの情報教育／博物館で学ぶ歴史遺産と異文化理解／映像で学ぶ時代と人間／情報セキュリティと個人情報保護法
- ・伊藤敏朗氏（映画監督、目白大学メディア学部メディア学科特任教授）  
映像表現法教育／映画による国際文化交流
- ・坂井知志氏（常磐大学コミュニティ振興学部教授）  
ライブラリーや教育現場での著作権の取

り扱い／デジタル・アーカイブ／視聴覚教育の今後の課題

- ・篠原文陽児氏（東京学芸大学名誉教授）  
科学教育／教材開発／プログラミング教育／視聴覚教育・放送教育を活かす
- ・立見康彦氏（群馬大学教育学部大学院教育学科研究科客員教授）  
視聴覚教育の概論／視聴覚センター・ライブラリー／視聴覚教育を通じた教職員の資質向上・学校経営の充実
- ・平沢 茂氏（文教大学名誉教授）  
学校教育／生涯学習／視聴覚教育／メディア教育／教育行政
- ・吉田広毅氏（関東学院大学国際文化学部教授）  
ICT活用教育／教員研修カリキュラムの開発／異文化理解教育
- ・村上長彦氏（東京都足立区教育委員会／全視連専門委員長）  
視聴覚教育／生涯学習施設における視聴覚メディアの活用／生涯学習施設ボランティアの活用
- ・丸山裕輔氏（新潟県阿賀町立上条小学校校長／全視連副専門委員長）  
視聴覚教育／メディア教育／情報教育

## ▽専門委員決まる

全視連事業をご協力・推進いただく専門委員制度は全国をブロック別に分け、現在下記のように9名の方々に就任いただいております。

各種調査研究事業、全国大会における全視連関係分科会での登壇、各研究部会の構成などの事業を担当し、任期は平成29・30年度の2年間で、今年度、前任者の異動により3名の方々に新たに就任いただいた。

### 〈専門委員長〉

- ・村上長彦（東京都足立区教育委員会）

### 〈副専門委員長〉

- ・丸山裕輔（新潟県阿賀町立上条小学校校長）

### 〈専門委員〉

- ・高橋敏幸（茨城県阿見町立竹来中学校講師）
- ・福島慎太郎（千葉県総合教育センター）
- ・星 恭典（仙台市教育生涯学習部生涯学習課）
- ・桑原玲子（岩手県教育委員会事務局盛岡教育事務所）
- ・樋口 誠（春日部市教育委員会視聴覚センター）
- ・築 真也（栃木県視聴覚教育連盟）
- ・高見晴彦（兵庫県篠山市視聴覚ライブラリー）

※アンダーライン平成30年度～

---

## ▽訃報 吉川刀夫副会長逝去

去る5月17日、全国視聴覚教育連盟副会長吉川刀夫氏が逝去されました。享年80歳。故吉川刀夫副会長は、茨城県視聴覚教育振興会会長として、茨城県の視聴覚教育の進展に努められる傍ら、平成16年より13年間にわたり全視連副会長として、井上孝美会長を支え、全国の視聴覚センター・ライブラリーの充実発展に寄与されました。

例年開催される視聴覚教育総合全国大会・放送教育研究会全国大会合同大会等には茨城県視聴覚教育振興会として参加し、茨城県の視聴覚教育の実績を示す実践発表を行うなど

積極的な活動を進めて来られました。また、平成16年から12年間（一財）日本視聴覚教育協会理事・評議員としても、日本の視聴覚教育発展に寄与さ



れました。謹んで哀悼の意を表します。

なお、同振興会の新会長として新たに就任の鈴木等氏が全視連副会長として就任いただけることとなりました。

---

## ▽えすけーぶ

### 【地域に根差した映画会】

雑誌「視聴覚教育」の全視連欄に書いてありましたが、“IT時代だ、もう映画は古い”的な論調をよく聞きますが、各視聴覚ライブラリーのホームページ等をよく見てみると、多くの視聴覚ライブラリーがプロジェクターを使った“子ども映画教室”とか“親子映画会”、さらには“名画鑑賞会”等を行っている事が読み取れます。

それも、視聴覚ライブラリーの単独主催も

ありますが、公民館や図書館等と共催して定期的で開催している所もあるようですよ。

メディアの多様化が進む中、写真や動画等の映像利用は一般化し定着しています。

その中で、視聴覚ライブラリーの事業として、地域のニーズを踏まえた映画会等のメディアサービスも大切でしょう。

そうそう、今年は講師派遣事業を通して映画利用に関するアンケートも実施するようですのでよろしく！

---

全国視聴覚教育連盟

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-10-11 虎ノ門 PF ビル

TEL : 03-3431-2186 / Fax : 03-3431-2192

HP : <http://www.zenshi.jp/>

Mail : [info@zenshi.jp](mailto:info@zenshi.jp)

---

# 東映 教育ソフト Line-up!

## 小学校 社会科

### なぜなに社会科 映像資料集

#### DISC1 飲料水・電気

- 知りたい! 浄水場 (11分)
- 知りたい! 火力発電所 (11分)
- 知りたい! 自然エネルギーを使った発電 (14分)

#### DISC2 ごみ処理・下水道

- 知りたい! 清掃工場 (10分)
- 知りたい! 資源のリサイクル (13分)
- 知りたい! 下水処理場 (12分)



次期学習指導要領に向けた、小学校社会科の新シリーズ。最新の映像、的確な構成で、社会の中の様々な事象を紹介します。とことん映像の力で見せていく社会科教材の王道をいくシリーズです。

監修：東京都台東区立金亀小学校 校長 古谷尚律

DISC1 3タイトル+映像クリップ 本体価格:66,000円(税抜)  
DISC2 3タイトル+映像クリップ 本体価格:66,000円(税抜)

## 小学校 道徳・特別活動・防犯

### 情報モラルを身につけよう! 小学生のスマホの安全な使い方教室

- 1巻 自分も相手も傷つけないために (21分)
- 2巻 危険な目にあわないために (18分)

スマホを利用してトラブルに巻き込まれる小学生の事例をドラマで描き、子供たちに安全で正しいスマホの使い方をわかりやすく解説した作品です。情報モラルを身につけることの大切さを子供たちに訴えます。

監修：兵庫県立大学環境人間学部 准教授 竹内和雄

文部科学省特別選定  
学校教育教材・社会教育(教材)



各巻 66,000円(税抜)  
2巻セット 120,000円(税抜)

指導の手引書・ワークシート付き

## 中学生の消費者教育シリーズ

### 自立した消費者になろう! 「契約」を学び「権利」と「責任」を自覚する

中学生が「契約」について理解し、消費者トラブルの解決法と予防法を知り、消費者の「権利」と「責任」を自覚することを狙いとしたドラマ形式の作品です。



監修：東京経済大学現代法学部教授 弁護士 村千鶴子

教育映像祭優秀賞受賞

(19分)  
66,000円(税抜)

### 食品の表示と安全を学ぼう! 科学的に考える力を身につける

食品表示の基本ルール、食品添加物の役割やその安全基準のメカニズムを、専門家の解説と図や表を交え、分かりやすく描いていきます。



監修：相模女子大学 栄養科学部管理栄養学科教授 農学博士 三輪操

科学技術映像祭特別奨励賞受賞

(25分)  
66,000円(税抜)

お問い合わせ・チラシ請求は

☎ 03 (3535) 3613 FAX03 (3535) 3632

予告編  
配信中

<http://www.toei.co.jp/edu/>

教育映像 検索



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

(価格は税抜きです) ●学校向け特別価格もございますので、お気軽にお問い合わせください。